

1 自己評価書

評価項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
教育目標	すべてのことに感謝				
基本方針	1 個に応じたきめ細かな指導やICTの適切な活用を通して、確かな学力の定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びへの授業改善を進める。 2 子供たちの思いを的確に把握し、活躍する場を設定したり、気持ちのよい挨拶・返事の徹底を図ったりすることで、思いやりや感謝の気持ちを大切に、活気に満ちた安全・安心な教育環境を整える。 3 教職員が互いに助け合える職場づくりを心掛け、ワークライフバランスを大切にしながら働き方改革を推進する。 4 家庭や地域との連携・協働を強化し、閉校に向け、地域とともにある学校づくりに努める。				
本年度重点目標	1 個に応じた指導やICTの適切・効果的な活用を通して、確かな学力の定着と向上を図る。 2 子供たちの思いを大切にしながら活躍する場を設定し、活気ある挨拶や返事のできる児童を育成する。 3 子供たちと関わる時間を確保できるよう、助け合い、相談し合える、温かな職場づくりに努める。 4 閉校に向け、地域と協働する学校づくりに努める。				
①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析により成果と課題を把握するとともに、「身に付けさせたい力」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施	A A A	
②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	A C B B	
		ねらいを明確にした分ける授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	
		一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B A B	
③	家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B C C C	
④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B D D D	
⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	C B C C	
(成果○と課題●) ○ 「ねらい」と「振り返り」を意識した授業実践 ○ 「何が分かったのか」や「何が難しかったのか」を問い掛けたり、「どう解決したのか」を共に確認し合ったりすることを通して、授業内容の振り返り ○ デジタル教材や副教材等を活用した、基礎基本の定着促進への取組の継続 ○ 計画的な放課後補充学習の取組による、基礎基本の定着 ○ 図書委員会による冊数調査や掲示・表彰、学級での読書啓発、ボランティアによる読み聞かせ等、読書意欲向上への取組の継続 ● 「ねらい」を意識した、より効果的なデジタル機器の活用 ● 「振り返り」の時間の確保 ● 課題を与えられることを待つ受動的な学習 ● 読書意欲の向上と、家庭での読書活動の一層の啓発・推進					
(改善策等☆) ☆ 児童が主体的に学ぼうとする授業づくりへの変換と教師の工夫 ・ 「ねらい」と「振り返り」を意識した授業づくりと、「振り返り」の時間を確保できる計画的な授業実践 ・ 児童自身が追求したくなる問いや発問の工夫 ・ デジタル機器の活用による協働的な学びのある授業づくりの工夫 ・ デジタル教材や副教材を活用した、基礎基本の確実な定着に向けた取組の継続 ・ 支援員との連携や放課後補充学習の活用による、個に応じた学習支援の推進 ☆ 読書活動推進に向けた取組の継続と、家庭を巻き込んだ読書活動の実践					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	D B A C
	②	児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B B
			不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B B B B
			いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B B D C
③	関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	A C C B	
④	自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にを行った(自分にはいいところがある)。	・教師アンケート ・児童アンケート	B C C	
		自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート ・児童アンケート	D B C	
(成果○と課題●) ○ 「ありがとう」の言葉や友達の善行を紹介し、称賛し合う機会の設定 ○ 係活動の活性化による、自主性の向上と児童同士のプラスの相互評価への繋がり ○ 生徒指導事案等に関する情報交換や対応策等についての、教職員間の共通理解と連携強化 ○ SSWや関係諸機関との連携 ● 児童同士の人間関係や言動の改善に向けた指導の継続 ● 様々な事案への対応策 ● 児童と教職員が触れ合い、関わり合える時間の確保 ● 児童のコミュニケーションスキルの向上と、よりよきリーダーの育成 ● 自己有用感の低さ					
(改善策等☆) ☆ 対人関係や自己肯定感を高めるための、ソーシャルスキルトレーニングやコミュニケーションスキルトレーニングの実践 ☆ ソーシャルスキルトレーニングやコミュニケーションスキルトレーニングに関する職員研修の実施 ☆ 挨拶や「ありがとう」の言葉などをきちんと声に出し合えるようにする指導の充実 ☆ 児童が安心して過ごせる環境の整備 ☆ 児童と教職員が触れ合い、一人一人に関わることでできる時間・機会の充実					

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指すために、教職員の働き方の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A B	B
	② 働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	B	B
	③ 他の教職員のサポート体制の充実	休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	A	A
		教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A
	<p>(成果○と課題●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の電話対応時間の制限 ○ 支援員のサポートによる学級担任の業務支援 ● 個人の意識改革に任されている部分が多い、業務改善への取組の現状 ● 業務改善に向けた職場全体での取組 ● スクールサポートスタッフ(SSS)としての業務内容の明確化と時間の確保 <p>(改善策等☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 業務改善に向けた具体的方策の洗い出しと改善策の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改善アイデアの募集 ・ 各自の業務内容の洗い出しと精選 ・ 改善策の集約と実践 ☆ SSSの業務の明確化と、業務実施に向けた伝達方法の改善 				
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	A	A
		学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議によって地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	B C A	
	② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	
	③ 来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A C A	
	<p>(成果○と課題●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の直筆文書の配布による、学校行事の地域への周知 ○ ホームページや学校だより、地域だよりの発行による、地域への教育活動の紹介 ○ CSマイスターの来校による学校運営協議会の活性化 ● 地域学習や地域の方々との交流等の一層の推進(総合、生活、特活、等) ● 閉校に向けた、保護者同士、学校と保護者、学校と地域、等との一層の連携充実 <p>(改善策等☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 感謝訪問の実施方法の工夫や、本校に関わっていただいた多くの方へ感謝の思いを伝える機会の設定 ☆ 地域学習のさらなる充実と、学習発表会でのしっかりした学びの発表 ☆ 学級通信の発行や内容の充実を図ることを通した、児童の様子や教育活動の周知 ☆ 細かな家庭連絡を通じた家庭との連携強化 				

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

後期学校評価アンケートにおける、よりよくするための御意見 等

いただいた御意見	対応策等
<p>① 立間小の皆さんが健やかに来年の閉校を迎えられるよう祈っています。</p> <p>② 何かと統合に向けてお忙しい毎日だと思います。先生方、健康に留意されてしめくりをしていただきたいと思います。よろしく願います。</p> <p>③ とにかく、皆が心身共に健康で過ごせますように。</p>	<p>①②③ 統合・閉校に向け、残りわずかとなりましたが、よい締めくりができるよう、しっかりと教育活動に取り組んでまいります。教職員の健康のことまで気にしていただき、ありがとうございます。</p>
<p>④ 児童の皆さんは、出会うと気持ちのよい挨拶してくれます。また、今年、8年ぶりに私の集落にお亥の子が復活しました。集落外に住む小学生も集まり、わいわい、がやがやと賑やかにお亥の子を行いました。集落に住む人たちも「子供たちの賑やかな声がすることはいいことだね。」と口々に言われていました。地域に小学生がいることで私たち大人に元気をきれているように思います。その子供たちを見守ることが地域住民の役割だと思います。</p>	<p>④ 児童が地域内でも気持ちよく挨拶ができていると聞き、温かな気持ちになります。また、地域内での児童たちの声がとても貴重なものであることも再認識いたしました。これからも地域内での見守りをよろしくお願いいたします。</p>
<p>⑤ 日頃の授業だけではなく、愛媛大学への校外学習や、明日チャレなどの様々な学びの機会を作っていたいただき、感謝しています。また、小規模校ならではの学びの機会の多さ、深さ、学習面と心理面、両方のサポートの手厚さも実感しているので、統合はとも残念ですが、クラスの数が増えることを見据えたご指導もしていただいと感じますので、大変心強いです。引き続き、最後までご指導よろしくお願い致します。</p>	<p>⑤ 日々の授業や体験学習等、様々な取組を取り入れながら教育活動を進めています。その様子を評価していただき、ありがとうございます。小規模校ならではの教育活動を今後も大切にしながら、統合後を見据えた教育に取り組んでまいります。</p>
<p>⑥ 特定の児童から受ける心無い言葉に傷つき、辛い思いをしている子が居ますが、担任の先生や学校側はその現状をご存知でしょうか。一人一人に向き合った関わりを希望します。</p> <p>⑦ 心無い言葉を発し、その事を苦に感じている児童が複数いると思います。学校側はこれに対し問題解決の姿勢を示していないと感じます。</p> <p>⑧ 閉校まで3ヶ月ちょっとになります。子どもらの表情、会話により一層寄り添っていただけるとありがたいです。</p> <p>⑨ 期待出来ない。</p>	<p>⑥⑦⑧⑨ 貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。学校では様々な事案が起こりますが、児童一人一人にもっと寄り添い、丁寧に対応してまいります。学校として十分な指導・対応がとれていない面はしっかりと反省し、よりよい教育活動が進められるよう取り組んでまいります。</p>